

令和4年度 総務委員会活動報告

1. 学部講演会

2022年度は、下記の通り、台湾の半導体を巡る米中の覇権争いをテーマにシンポジウムを実施した。今年は昨今の事情を鑑み、オンデマンド開催とした。

経済学部シンポジウム「米中技術覇権争いと台湾－半導体を握るのはだれか」

講師

・高橋克秀先生（國學院大學経済学部教授）

「台湾有事の可能性－中国の論理を読む」

・近藤信一先生（岩手県立大学総合政策学部教授）

「中国の半導体及び製造装置産業の実力と米中ハイテク摩擦による技術デカップリング」

総括コメント

・木村秀史（國學院大學経済学部教授）

開催日時（配信開始日）

2022年10月15日（オンデマンド開催）

2. 研究会

2022年度研究会は、下記6回を学部教授会の前後に実施した（全てオンライン開催）

第1回：5月18日（水）12:00～13:00（オンライン開催）

報告者：櫻井 潤 先生

タイトル「テキサス州のポスト・オバマケアのメディケイド改革における州財政の論理
：「負担に見合う」連邦補助金を用いた医療ニーズへの対応」

第2回：7月13日（水）12:15～13:15（オンライン開催）

報告者：芳賀 英明 先生

タイトル「擬人化することは 消費者とブランドとの結びつきを強くする？
-自尊感情の視点から」

第3回：9月27日（水）12:15～13:15（オンライン開催）

報告者：手塚 貞治 先生

タイトル「不確実性への戦略的対応に関する一考察 ～シナリオプランニング有効活用の検討～」

第4回：10月26日（水）16:00～17:00（オンライン開催）

報告者：橋元 秀一 先生

タイトル「労働組合による労働者供給事業の役割と課題」

第5回：11月30日（水）12:00～13:00（オンライン開催）

報告者：藤山 圭 先生

タイトル「ブランド・コミュニティの発展と変化
スマブラコミュニティのエスノグラフィを通じて」

第6回：12月14日（水）12:15～13:15（オンライン開催）

報告者：辻 和洋先生

タイトル「組織開発アプローチによる働き方改革 ー横浜市立学校の実践事例ー」

3. 懸賞論文

応募総数：12本

優秀賞：2本 佳作：2本

優秀賞

・牛尾陽（経済ネットワーク学科4年）

「直島における地域活性化の課題と改善策の提案ーアートを通じた地域づくり活動の効果とその限界に注目してー」

・安積真帆（経済学科4年）

「ラテンアメリカ経済と中所得国の罫～『東アジアの奇跡』から学ぶ経済発展～」

4. 『の～びのび経済』第23巻 刊行

・ゼミナール論文：10本（参加ゼミナール数：3）

・懸賞論文：優秀賞論文2本

・活動報告

令和4年度総務委員会

総務委員長 木村秀史

研究会担当 手塚貞治

学生委員会担当 中田有祐

櫻井潤

懸賞論文・の～びのび経済担当 藤山圭

以上